

意見書案第 21 号

公的年金 2. 5%削減中止を求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を
求める。

平成 25 年 9 月 26 日提出

提出者	中間市議会議員	田口澄雄
賛成者	〃	田口善大
〃	〃	小林信一
〃	〃	宮下寛
〃	〃	青木孝子
〃	〃	山本慎悟
〃	〃	佐々木晴一

公的年金2.5%削減中止を求める意見書

国会は、昨年、2.5%年金削減法を含む、国民生活に直結する重要法案を成立させました。とりわけ年金2.5%削減の実施は、深刻な不況と食材や灯油などの急騰に加え、生活苦の中にある高齢者の生活をいっそう圧迫し、悲惨な結果を招くものです。

年金は自治体の高齢住民に直接給付される収入で、特に大都市部に離れた地域では、その削減は地域経済に大きな影響を及ぼすとともに、消費を冷え込ませ、不況をいっそう深刻にし、国の経済にも負の影響を与えることが心配されます。

さらに、今準備されているデフレ下のマクロ経済スライドの実施など、限らない年金削減の流れに道を開くものになり、若者を中心に年金離れが一層進み、年金制度への信頼はさらに低下されることが懸念されます。

このような事態を踏まえ高齢者の生活と地域経済を守るために、次の事項を強く求めます。

記

1. 公的年金の「2.5%削減」を中止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月26日

中 間 市 議 会

提 出 先

内閣総理大臣 安 倍 晋 三 様
厚生労働大臣 田 村 憲 久 様